

大人が変われば、子どもの未来が変わる

集まれ「オンラインしゃべり場」開設

のための

市民講座・勉強会のお知らせ

SNSで、対面や電話でのコミュニケーションが
苦手な子どもたちの意見や悩みに耳を傾ける

狭山市行政提案型協働事業

NPO法人地域教育ネットワーク
こども支援課

NPO法人地域教育ネットワークの取り組み

2016年2月15日 設立
こどもの居場所、世代間交流事業、
情報モラル事業の家庭支援

2020年3月
埼玉県の依頼で困窮家庭、
ひとり親家庭の支援事業を開始

見えてきた課題

- ① 困窮家庭、ひとり親家庭の増加
- ② 子どものいじめや
- ③ 登校しぶり、不登校
- ④ 非行化
- ⑤ ヤングケアラーを含む家庭問題の増加
- ⑥ ネグレクト
- ⑦ 虐待
- ⑧ 子どものネット依存
- ⑨ 保護者のネット依存
- ⑩ 孤立化 等

主要事業

アシスタント養成事業
子育て支援や世代間交流事業の企画や準備・運営を行う人材養成
スタッフ / インストラクター / アドバイザー

青少年育成事業
子供が地域社会と関わることで、体験・経験を通して夢、希望、未来につなげる

情報モラル事業
インターネット社会における乳幼児から、思春期、青年期までの子育てを考え、子供たちを取り巻くインターネットの危険性や利便性を学び、発信

居場所づくり事業
子供たちが集まり、世代間交流ができる事業やネット依存予防への取り組みを行い、HPでの相談業務の展開

家庭支援事業
ゆるやかな関りでの支援や相談業務

食育事業
自分らしく、健康で、心豊かな生活を送るために、食を営む力を育てるとともに、それを支援する環境づくりを推進

年間事業

- WAKU☆DOKI はっぴー 毎月第3・第4土曜日
- 親子講座はっぴー 毎月第3木曜日
- 情報モラル講演会
- 研修会
- 相談事業
- 会報発行 等

WAKU☆DOKI はっぴー
WAKU☆DOKI はっぴー
WAKU☆DOKI はっぴー
親子講座はっぴー
研修会
講演

2023年4月 こども家庭庁

こどもの視点に立った当事者目線の政策を
強力に進めていくことを目指した政府の機関

最重要コンセプト「こどもまんなか社会の実現」

深刻な少子化・コロナ禍で加速した児童虐待
いじめ貧困問題・日本の子どもの低い幸福度
親の子育て負担の増加

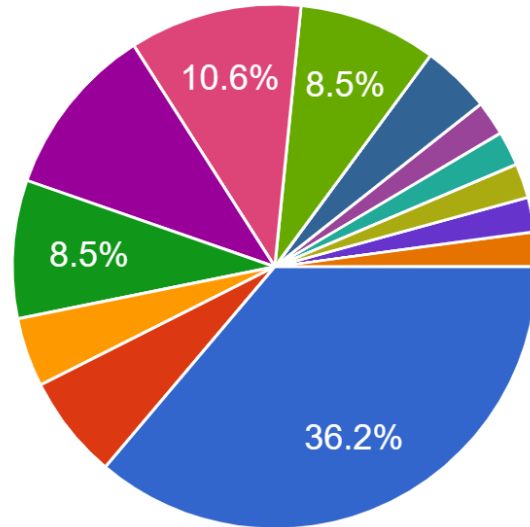
こども政策における基本的な理念

- ①こどもの視点、子育て当事者の視点
- ②こどもの健やかな成長Well-beingの向上
- ③誰一人取り残さず、抜け落ちることのない支援
- ④こどもや家庭が抱える様々な複合する課題に対しての切れ目のない包括的な支援
- ⑤待ちの支援から予防的なかかわりを強化するとともに支援が確実に届くプッシュ型支援、アウトリーチ型支援に転換
- ⑥データ・統計を活用したエビデンスに基づく立案を踏まえ今のこどもたちのコミュニケーションのあり方を考える

保護者に対してのアンケート結果

NPO法人地域教育ネットワーク
2月18日～25日 47名

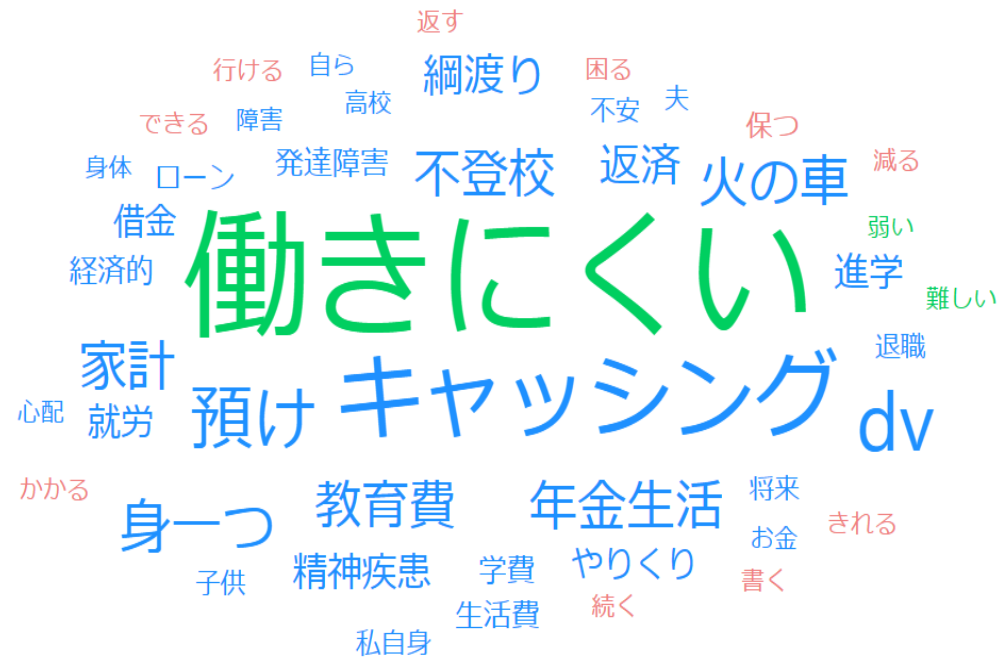
5. 家庭における悩みはありますか



- 経済状況
- 就労
- 子育て
- 子どもの教育
- 子どもの生活習慣（早寝、早起き、朝...）
- 子どものいじめ
- 不登校、登校しぶり
- 子どものスマホ、ゲーム機使用

▲ 1/2 ▼

10. 悩んでいること、困っていること

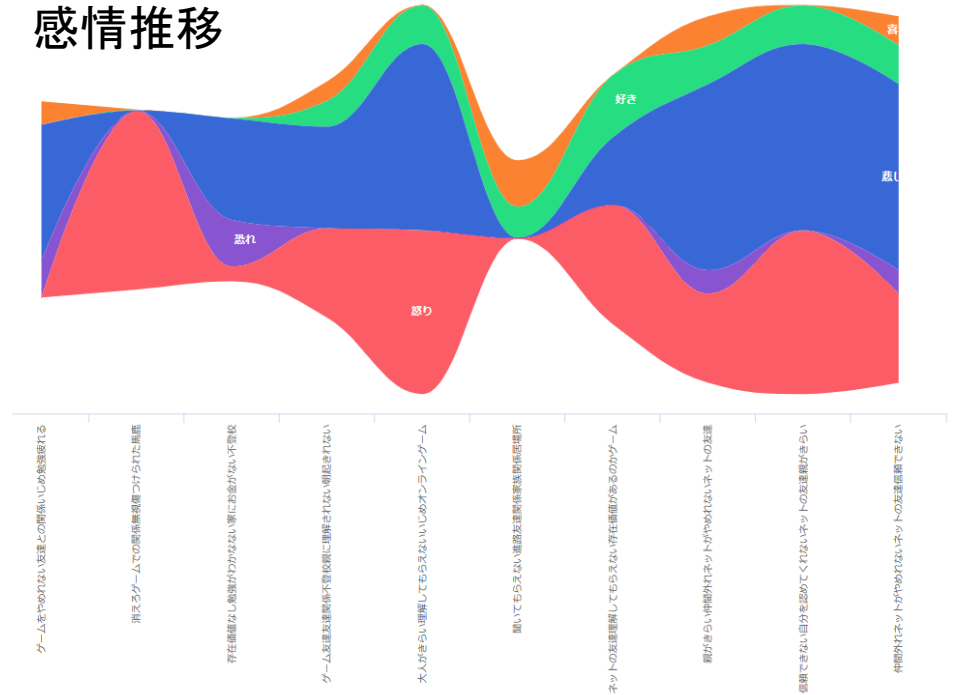


AIテキストマイニング

子どもたちの悩み・不安

勉強 理解 消える 進路 疲れる わかな 関係 ネット
 くれる 認める 信頼 馬鹿 存在
 オンラインゲーム 価値 家族
きらう 不登校 居場所
 存在価値 親 仲間外れ
 お金がない 友達
 無視 傷つける いじめ 起きる
 もらえる ゲーム やめる 大人

感情推移

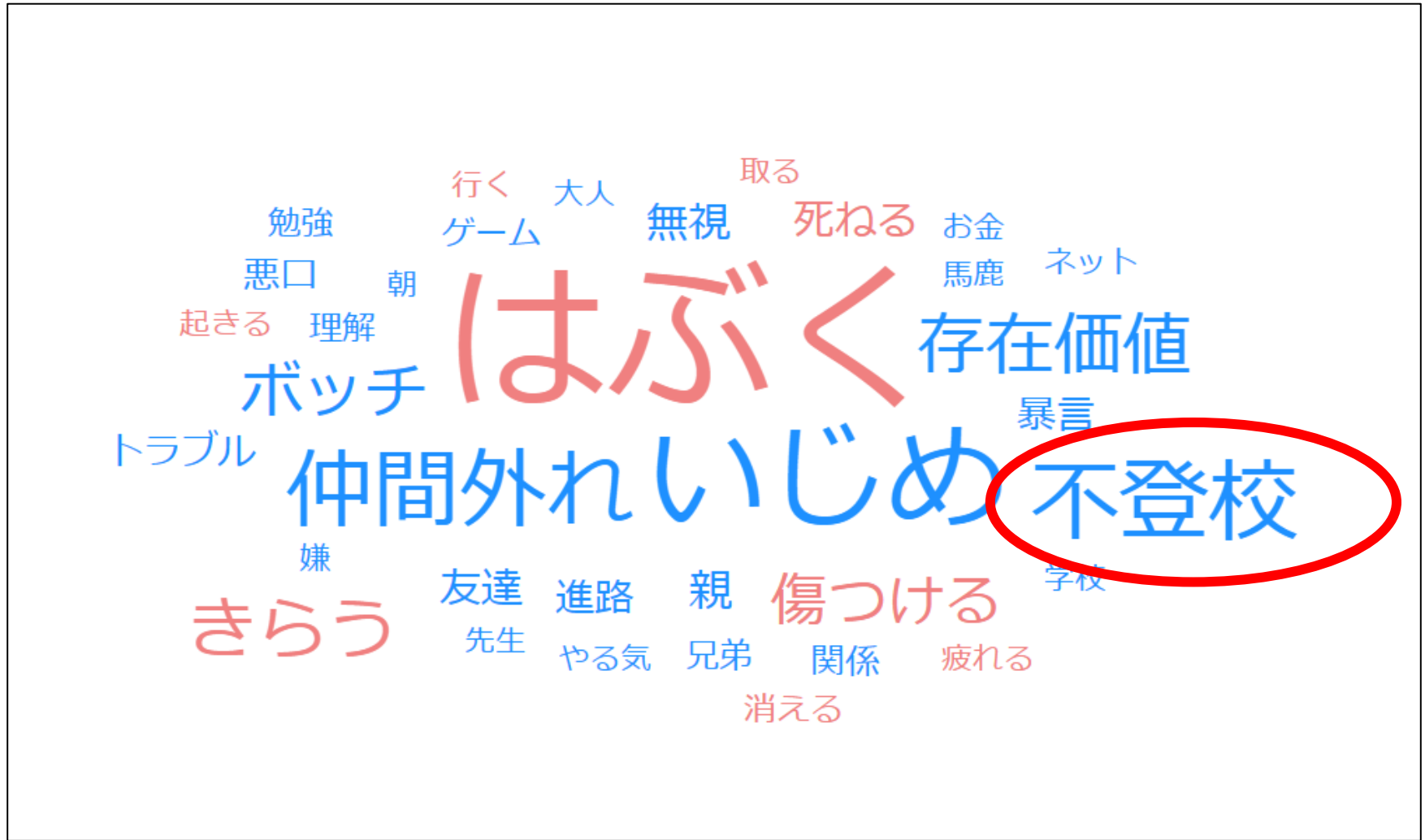


- 喜び 😊
- 好き 😊
- 悲しみ 😞
- 恐れ 😨
- 怒り 😡

友達との関係
大人(家族)との関係
ネットでのつながり

AIテキストマイニング

子どもたちの困っていること



令和4年度小中学校相談業務アンケート結果より

中学生のSNS利用率は9割 小学生低学年ではTikTokが浸透

ドコモ調査



<https://msp.c.yimg.jp/>

事業の詳細

Z世代 α 世代の子どもたち

生まれたときから身近にネット環境があるなかで育ってきた世代
現実世界とオンラインコミュニティが分ち難く結び付いている世代

(カナダ統計局、アメリカ心理学会などが示す世代区分)

チャットを主流として、若者スタッフの協力

- ①社会問題の課題研修会（年2回）
- ②活動の周知の為、困難を抱えている対象者のニーズの調査を行う。
- ③オンラインしゃべり場の開催
（初年度2回。チャットで行い、オンラインサロンに移行・・・継続取組）
- ④チラシ作成、SNSでの周知
- ⑤専門家、経験者との連携
- ⑥市民・若者スタッフとのワークショップ

ワークショップ KJ法

テーマを決めて、KJ法でまとめて発表してください

- ① いじめ
- ② 友達関係
- ③ ネット依存
- ④ 不登校、登校しぶり
- ⑤ 家庭の問題
- ⑥ フリー

市民講座・勉強会のスケジュール

7月23日(日) 午後6時～8時
中央公民館第5学習室

- ① 事業内容とスタッフ募集の説明
- ② 「ネットについて～若者と市民のリアルしゃべり場～」
ファシリテーター：NPO法人地域教育ネットワーク 代表理事 笠松直美

8月20日(日) 午後2時～4時
中央公民館第1ホール

「ICT社会での子どもたちの実態～SNSの危険性と心身の問題」
講師：THInet 公認インストラクター 笠松直美

9月3日(日) 午後2時～4時
中央公民館第2ホール

「同じ土俵に立とう～現代社会のSNS」第1回 講演
講師：企業組合 i casket 代表理事 吉田理子

9月10日(日) 午後2時～4時
中央公民館第1ホール

「同じ土俵に立とう～現代社会のSNS」第2回 実践研修
講師：企業組合 i casket 代表理事 吉田理子